

# 第22回 少年の主張 下仁田大会

【7月6日(金)町文化ホール】

下仁田中学校の各クラス代表が、日頃感じていることを「少年の主張」として発表しました。代表者6名の主張は家族や学校、地域社会との関わりを表現し、いずれも素晴らしい主張でした。最優秀には、多田杏菜さん(3年)が選ばれ、8月5日(日)に藤岡市みかぼみらい館で開催される「少年の主張 西部地区大会」に下仁田町代表として出場します。

最優秀賞

## マザー・テレサの言葉

三年 多田 杏菜



We will say a prayer that God's love will abide with us. 「共に祈りましょう。神の愛が私達の所へとどまってくださいますように。」

この言葉は一九八二年にマザー・テレサが来日した際の特別講演でおっしゃった言葉です。私はこの言葉を高校生が日本語に訳して、読んでいた時に知りました。マザー・テレサの言葉をもっと知りたいと思ったのもこの時でした。そこで、マザー・テレサの講演の続きを高校生が訳している所と一緒にに入れてもらい、私も少し訳してみました。英語自体はそれ程難しくはないのですが、二つ三つの言葉の奥が深いのです。私は訳し終えた後、とても感動してしまいました。同時に次のようなことを思いました。

昨年、日本ではとても痛ましい災害、事故が起きてしまいました。そう、東日本を襲った『東日本大震災』です。みなさんは、あの時に起きた震災を今でも気にかけて、被災地のために募金やメッセージを送ることなどをまだ続けていますか。おそらくあまり気にかけていないで、ただいつものどおりの毎日を送っているのではないのでしょうか。私もそのようなのですから。

でも、マザー・テレサだったらこう言うでしょう。「この世界の抱えている病気は、時間が経つにつれ人が無関心になつていくことです。」この病気は、人が気づけば治ることなのです。未だに収束しない原発問題も一緒です。放射能や自分の安全だけを考え、家に帰れない被災者を気にかけてあげられないのは、私達の最大の『病気』なのです。

下仁田中学校の目標にもありますが、『愛する・考える・行う』。どうでしょう。マザー・テレサが生涯を通して思い、行動してきたことと同じではありませんか。マザー・テレサの思いはこんなにも身近に、あたりまえのようにあるのです。何に対しても関心をもたず、ただ毎日が無駄に過ぎるのではならないのです。私達はまだ子どもです。災害を、被災地の問題を解決するのは不可能に近いでしょう。でも、考え方によっては、子どもだからできることもあるのではないのでしょうか。

一人一人が考えて行動し、愛を持って接すれば、きっと被災地も良い方向へ向かうことでしょう。そして、マザー・テレサも喜んでくださることでしょう。

私達には未来を変える義務があるのです。国内だけでなく、国外にも目を向けましょう。広い心で地球全体に目を向けましょう。自分の欲望に流されて生きてはなりません。流される先には破滅が待っているだけです。

今も世界では、欲望から始まる戦争があとをたちません。しかも、それによって何も罪のない子どもや母親、若者や老人などたくさんの方が亡くなっているのです。まるで、その地に生まれ育つたことが罪だとも言ってしまうように。

みなさんはそのような経験をしたことはあるはずがないと思います。食事に困らず生活することができて、学校にも通えるこの平和な日本では。

世界には、水をくむために二十キロメートル以上の道のりを往復する子どもたちがいることを知ってください。病気になつても十分な治療が受けられず、苦しみがら亡くなつていく人がいることを知ってください。ひどい飢えと貧困の中で亡くなつていく人がいることを知ってください。

知ることできると私達も変わります。マザー・テレサが世界中の人を愛したように、私達も周りを愛しましょう。

あなたもまず身近な家族や友人を愛してください。愛の輪は世界中に広がります。マザー・テレサが残した言葉のように。



〔写真:前列左から〕  
佐藤さん 黒澤さん 多田さん 黛さん  
神宮さん 清水さん

### 発表者名簿

氏名	学年	題名
しみず あすか 清水明日香	1年	家族の大切さ
じんぐう ちはる 神宮千春	1年	命を大切に
まゆずみ こうすけ 黛晃輔	2年	祖父との別れ
ただ あん な 多田杏菜	3年	マザー・テレサの言葉
くろさわ かおり 黒澤香里	2年	「あたりまえ」に感謝
さとう まなつ 佐藤真夏	3年	言葉の力で変わる未来

※掲載者の学校、学年は平成23年度のものです

## 「仲良くしよう」

馬山小学校 四年 神谷 瑠美

十二月二十一日～十二月九日までの間「仲よし月間」がありました。まず、学活で「しようがいの人の勉強」をしました。

私は東京に行った時に、せがどん小小さくなくなってしまふ人をみかけました。それで、周りの人がわらっていたので、「ああこの人はしようがいをもっているんだな。でも、周りの人がわらっていることはゆるせない。」と心の中で思いました。周りの人は、心が茶色で、心がきたないのかもしれない。その後勉強した人権集会で、「自分の立場を考えて行動する」と「相手の気持ちを考える」という言葉について考えました。もし自分がしようがいをもっていて、みんなに何か体の悪口を言われたら、いやな気持ちになると思うから、そういう事は絶対やめてほしいと思います。

道徳で勉強した、「モンゴルの木」で登場する木のハルとザグは、最初は仲良くくくっていたのに、ある日、雪や嵐がやって来てハルはザグを包むように守ってあげました。そんな仲の良い二本の木を見ていたハイラスが、たいそううらんで、二本を引きはなしてしまおうとかがえるようになりました。その後二人ともべつべつになってしまいました。ザグはどんどん育つて、どんどん友達ができていきました。しかし、ハイラスは、一本だけでさびしく一人ぼっちになってしまいました。ハルもどんどん友達ができていきました。ところがこんな様子を見たハイラスの仲間たちが、一本、二本とやって来ました。それからハイラスもハルもザグも幸せにくらしたそうです。

私も二年生のころ、友達がいなかった時は、一人ぼっちだったのでさびしかったけど、自分から、「いっしょに遊ぼう」と声をかけたらだんだん友達がふえてきました。その時私は、「仲良くしてくれてありがとう。」という気持ちになりました。

この「仲よし月間」をしてきた中で、こんなに仲良くしようと思ったのは初めてです。下仁田小学校にいても、今の自分のままで生きていけたらいいなと思います。私と友達になつてくれた子に、感しゃの気もちをおくりたいです。



## 8月の「保育園子育て応援事業」活動計画

「保育園子育て応援事業」は、在宅の3歳までの乳幼児と保護者及び妊婦さんが参加できます。登録をされていない方は、事前に登録していただき、お問い合わせでご参加ください。事業計画の対象児でなくても参加できます。

保育園	馬山保育園	小坂保育園	青倉保育園
会場	保育園ホール	保育園内	保育園内
実施日	8/9(木)	8/8(水)	8/28(火)
時間	10:00～11:00	10:00～	10:00～11:30
対象児	妊婦さんと3才児まで	未就園児	妊婦さん～3才
内容	リトミック	プール遊び	赤ちゃんマッサージ
	乳幼児の育て方及び在園児との交流	親子でプール遊びを楽しむ	赤ちゃんマッサージはバスタオルを1枚用意してください。
準備するもの	運動の出来る服装でお出かけください。	水着・タオル等	水遊び 着替えを持参してください。
講師	リトミック講師 田中文華、蟻坂弘江 担当保育士 寒河江恵子		参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

■問い合わせ先 馬山保育園 82-2323 小坂保育園 82-2116  
青倉保育園 82-2549 下仁田町役場 健康課福祉係 (内線325)